

新型コロナウイルスの感染拡大の防止について

令和2年11月13日
新型コロナウイルス感染症対策本部

本県における新型コロナウイルスの感染状況は、散発的に発生しているものの、国が示した感染状況評価では、最も切迫度が低い「ステージⅠ」に留めることができます。

これは、感染拡大防止に向けた県民や事業者の皆様のご理解とご協力によるものであり、あらためて感謝申し上げます。また、現場の最前線で、強い使命感を持って業務に従事していただいている医療関係者の皆様のご尽力に対しましても、心より御礼申し上げます。

一方、全国的には、接待を伴う飲食店等でのクラスターが発生するなど、新規陽性者数が1,000人を超える日も度々あり、昨日は感染者が1,661人と過去最高となっています。新型コロナウイルスは、気温18度未満、湿度40%未満になると感染リスクが高くなると言われており、これから冬場を迎えるにあたり、強い警戒感を持って対処する必要があります。

また、国の本部会議においては、飲食を伴う懇親会等、感染リスクが高まる「5つの場面」が示されており、こうしたリスクを避けるため、県民や事業者の皆様には、特に次の3つの取組について、ご理解・ご協力をお願いいたします。

(1) 換気の実施と適度な保湿

換気扇の使用や窓を開けての換気とともに、加湿器の使用や洗濯物の部屋干し等による適度な保湿にも留意していただくようお願いします。

(2) 職場における取組

全国的には、仕事後の会食や休憩室等でのクラスターが発生していることから、会食の際には、配席を工夫するなど、感染リスクを下げながら飲食を楽しみましょう。また、休憩室等で会話する際にはマスクを着用することなどを徹底していただくようお願いします。

(3) 大学や専門学校等における取組

全国的には、課外活動や寮生活などでのクラスターが発生していることから、学生等に対して、部活動や会食等における注意事項の周知啓発などを行っていただくようお願いします。

また、外国人が在籍している大学等においては、多言語・やさしい日本語などを用いて、留学生に対して分かりやすく注意喚起していただくよう、併せてお願いします。

なお、これまで同様、基本的な感染予防策として、引き続き、入念な手洗いや咳エチケット、マスクの着用をはじめ、フィジカルディスタンスの確保など「3密」の回避、業種ごとに策定された「感染症拡大予防ガイドライン」などの徹底をお願いします。また、接触確認アプリ(COCoA)についても、可能な限りインストールしていただくことを併せてお願いします。

【県民や事業者の皆さまへのお願い】

「冬場を迎えるにあたって」の感染防止対策について

○気温と湿度が下がることの影響

- ・ ウイルスを含む飛沫が遠くまで飛びやすく、長く浮遊する。
- ・ 体外に出たウイルスが長時間生存すると言われている。
- ・ 暖房を入れるため、室内が「密閉」状態になりやすい。
- ・ のどの粘膜の防御機能が低下するため、感染しやすくなる。

→このため、以下のような取組を進め、冬場の流行を抑えましょう。

1. 基本的な感染防止対策の徹底

- ①入念な手洗いや咳エチケットの励行
- ②正しいマスクの着用（症状がなくても着用を）
- ③フィジカルディスタンスの確保など「3密」の回避
- ④新しい生活様式の実践
 - ・ 会食の際には、配席を工夫するなど、感染リスクを下げながら飲食を楽しみましょう。

2. 換気の実施

- ①換気扇の使用など「機械換気」による常時換気の実施
- ②「自然換気」の場合は、窓等を開けて換気を行いましょう。
 - ・ 室温の目安は18℃以上

3. 適度な保湿

- ①加湿器の使用や洗濯物の部屋干し等による湿度の調整
 - ・ 湿度の目安は40%以上